

DERWENT- 1992-092402**ACC-NO:****DERWENT-** 199212**WEEK:**

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Compact type portable video-phone - has semi-transparent paint on surface of LCD with backlight, surface being used as compact mirror when phone is not used NoAbstract Dwg 1/3

PATENT-ASSIGNEE: MITSUBISHI DENKI KK[MITQ]**PRIORITY-DATA:** 1990JP-0136783 (May 25, 1990)**PATENT-FAMILY:**

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 04035288	A February 6, 1992	N/A	003	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 04035288	A N/A	1990JP-0136783	May 25, 1990

INT-CL (IPC): H04N007/14**ABSTRACTED-PUB-NO:****EQUIVALENT-ABSTRACTS:**

TITLE- COMPACT TYPE TELEPHONE SEMI TRANSPARENT PAINT SURFACE LCD
TERMS: SURFACE COMPACT MIRROR TELEPHONE NOABSTRACT

DERWENT-CLASS: R57 U14 W01 W02**EPI-CODES:** U14-K01A4; W01-C01A9; W01-C01G4; W02-F08B3;**SECONDARY-ACC-NO:****Non-CPI Secondary Accession Numbers:** N1992-069154

⑫ 公開特許公報(A) 平4-35288

⑤ Int. Cl.⁵
H 04 N 7/14識別記号 庁内整理番号
8943-5C

④ 公開 平成4年(1992)2月6日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑥ 発明の名称 コンパクト型携帯テレビ電話

⑦ 特 願 平2-136783

⑧ 出 願 平2(1990)5月25日

⑨ 発 明 者 黒 岩 裕 之 群馬県新田郡尾島町大字岩松800番地 三菱電機株式会社
群馬製作所内

⑩ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑪ 代 理 人 弁理士 吉田 研二 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

コンパクト型携帯テレビ電話

2. 特許請求の範囲

本体に対して開閉自在なディスプレイを含む携帯テレビ電話において、

前記ディスプレイはその内部にバックライト照明を内蔵し、

前記ディスプレイの表面には半透過塗料が塗布され、

通話中には前記バックライト照明が点灯してディスプレイが画面を表示し、又非通話状態では、バックライト照明が消灯してディスプレイ表面をコンパクト用鏡として使用可能なことを特徴とするコンパクト型携帯テレビ電話。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は、電波を利用して画像を伝送する携帯テレビ電話に関するものである。

[従来の技術]

第3図は従来の携帯テレビ電話装置を示す図であり、図において、(1)は画像を写し出す液晶ディスプレイ、(2)は本体、(3)は操作部、(4)は音声入力をするためのマイク、(5)は相手からの音声出力用のスピーカである。

次に動作について説明する。操作部(3)により相手ダイヤル番号を送出し、通話相手と接続すると、第3図(A)のように液晶ディスプレイ(1)に通話相手が表示され、マイク(4)とスピーカ(5)によって通話をすることができる。

また、待機状態においては、第3図(B)のように液晶ディスプレイ(1)は何も写し出さない。

[発明が解決しようとする課題]

従来の携帯テレビ電話は以上のように構成されているので、女性が出掛けるときハンドバッグ等に化粧用コンパクト等と共に携帯テレビ電話を携帯しなければならないというわずらわしさがあった。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、女性が出掛けるときに手軽に

携帯できる携帯テレビ電話装置を得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係るコンパクトディスク型携帯テレビ電話装置は、テレビ電話の液晶ディスプレイが、電話を使用するときには通話相手の画像を写し出し、また電話を使用しない待機状態では鏡となるようにしたものである。

〔作用〕

この発明におけるコンパクト型携帯テレビ電話は、照明付液晶ディスプレイの表面に半可視塗料を塗布することにより実現する。

〔実施例〕

以下、この発明の一実施例を図に基づいて説明する。第1図において、(1)は画像を写し出す液晶ディスプレイ、(2)は本体、(3)は操作部、(4)は音声入力用のマイク、(5)は相手の声を聞くためのスピーカである。

また、第2図(A)、(B)は第1図の液晶ディスプレイ(1)を示し、(7)は液晶ディス

レイ(1)の画像を照し出すバックライト照明、(8)は照明(7)が消灯しているときは、外部光を全反射し、照明(7)が点灯しているときは液晶ディスプレイの画像を透過する半透過塗料である。

次に動作について説明する。操作部(3)により相手ダイヤル番号を送出し通話相手と接続すると、照明(7)が点灯し液晶ディスプレイ(1)に相手の画像が写し出され、マイク(4)とスピーカ(5)を用いて相手と通話することができる。

また、相手と話をしない待機状態では、照明(7)が消灯するので液晶ディスプレイ(1)に自分の顔などを写し出すことのできる鏡となる。

〔発明の効果〕

以上のように、この発明によれば、携帯テレビ電話を女性が使用する化粧用コンパクトの中に組み込むように構成したので、外出時において手軽に携帯できる携帯テレビ電話を得られる効果がある。

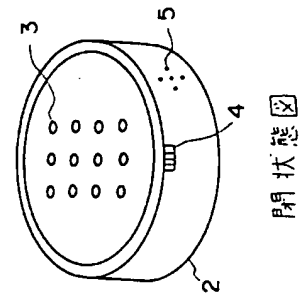
4. 図面の簡単な説明

第1図(A)、(B)はこの発明の一実施例によるコンパクト型携帯テレビ電話装置を示す開状態と閉状態の全体図、第2図(A)、(B)は第1図のディスプレイ(1)を示す斜視図及び側面図、第3図(A)、(B)は従来の携帯テレビ電話装置を示す開状態と閉状態の全体図である。

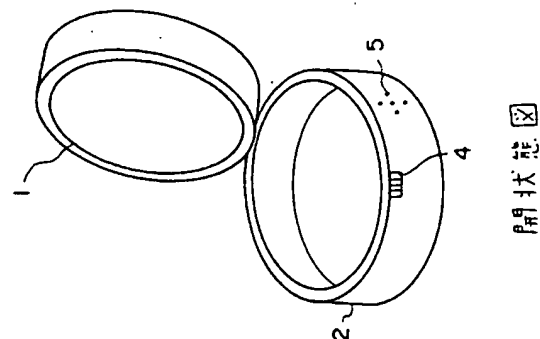
図において、(1)は液晶ディスプレイ、(2)は本体、(7)は照明、(8)は半透過塗料である。

なお、各図中同一符号は同一または相当部分を示す。

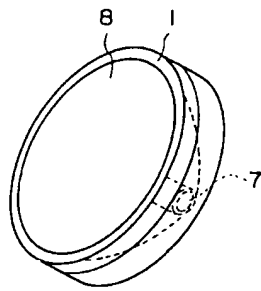
代理人 弁理士 吉 田 研 二
(外 2 名)



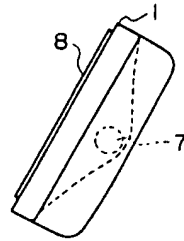
開状態図



開状態図

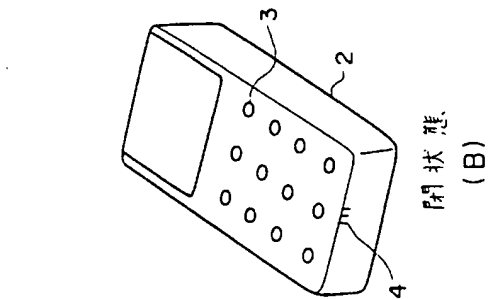


(A)

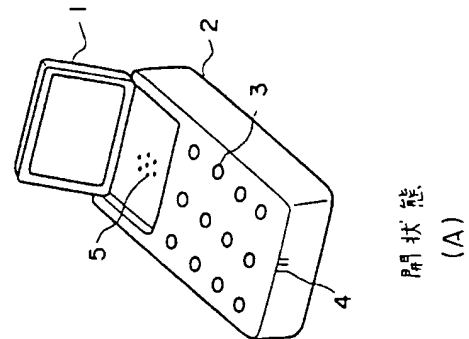


側面図
(B)

第 2 図



閉状態
(B)



開状態
(A)

第 3 図

手 続 補 正 書 (方式)

平成 2年 9月12日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成 2年 特許願 第136783号

2. 発明の名称

コンパクト型携帯テレビ電話

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
名 称 (601) 三菱電機株式会社
代表者 志 岐 守 哉

4. 代 理 人

住 所 〒160 東京都新宿区西新宿7丁目4番4号
武蔵ビル 電話 03-361-3699
氏 名 (7525) 弁理士 吉 山 研 二

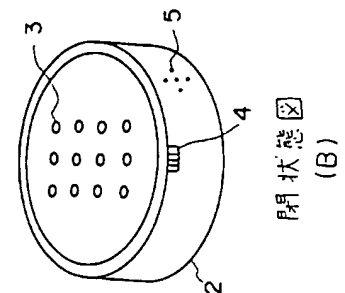
5. 補正指令の日付 平成 2年 8月28日 (発令日)

6. 補正の対象

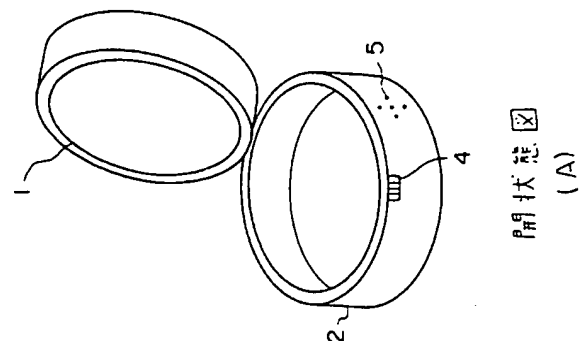
図面。

7. 補正の内容

図面第1図を別紙の通り訂正する。



閉状態図
(B)



開状態図
(A)

第 1 図